

水道事業の広域化に向けて取り組んでいます

県域水道一体化



奈良県では、現在、各市町村において水道事業を運営しています。しかし、その多くが人口減少による給水収益の減少、水道施設の老朽化、職員の減少による技術力の低下など、困難な問題に直面しています。各市町村の水道事業者が、単独でこれらの問題に対応していくには限界があり、今後も安全・安心な水道水を持続的に供給していくためには、複数の市町村が連携して広域で対処することが必要となります。

御所市を含む各市町村および奈良県は、令和7年度の事業統合に向け、具体的な協議・検討を進めています。

令和7年4月から事業開始を目指す「(仮称)奈良県広域水道企業団」に関する【Q&A】をご紹介します。

Q1. 県域水道が一体化されると、どのような効果やメリットがありますか？

A 将来にわたって安全・安心な水道水を持続的に供給することが可能となり、次のようなメリットがあります。

- 水道施設の若返りを着実に推進できます。
- 市町村の区域を越えた施設・設備の最適化、人的資源（人員・ノウハウ）の有効活用が可能となります。
- 施設設備への投資に国の交付金が活用でき、県の財政支援も受けられ、更新がさらに進みます。
- 市町村が単独で経営するよりも、将来の水道料金上昇が抑制できます。

Q2. これまでより、安全性は上がるのですか？

A 水道施設の老朽化対策を着実に推進することで、断水事故等に対する安全性が向上します。また、地震等災害や事故の発生に備え、非常用自家発電設備等のバックアップ体制がより一層充実します。

Q3. 安全・安心な水が飲めますか？

A これまでどおり、安全・安心な水道水をご利用いただけます。

Q4. 水道料金は上がらないの？

A 今後、人口減少が見込まれることから、単独経営のままでは、水道料金の大幅な値上げが必要ですが、県域水道一体化に参加することで値上げ幅を抑えることができます。

(右グラフ参照▶)

Q5. 緊急時の対応が遅れるのでは？

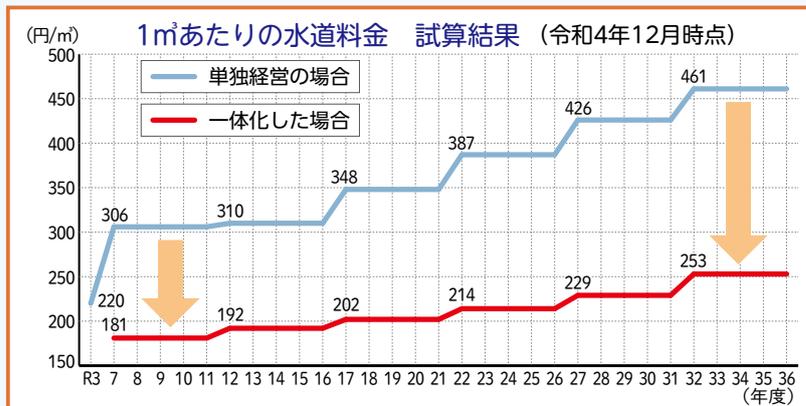
A 他市町村からの救援体制が整うことで、これまで以上に迅速な対応や、御所市内で同時に複数箇所の緊急対応が可能となります。

Q6. 住民の声が届きにくくなりませんか？

A 構成団体の市町村長および知事からなる運営協議会と、構成団体から選出された市町村・県議会議員でなる企業団議会が設置される予定です。これまでどおり、みなさんのご意見が届きやすい組織を目指します。

Q7. 一体化されるとどのような組織に？

A 複数の地方公共団体（市町村や県）が共同で行政サービスを行うことを目的とした地方自治法に基づいた組織で、一部事務組合（企業団）といいます。奈良県広域消防組合や南奈良総合医療センター（南和広域医療企業団）も、同様の一部事務組合です。民営化は行いません。



※水道メーター口径の大小や基本料金、使用量などの条件を度外視した市(企業団)全体の1㎡あたりの平均価格です。

県域水道一体化についてご不明な点は、御所市水道局へお問い合わせください。「まちづくり出前トーク」も実施します。お気軽にご相談ください。

ID 2911



■問い合わせ 水道局お客様センター 番62-1591